

＜タイトル＞

渋皮が簡単にむける画期的なニホングリ新品種「ぽろたん」

＜当該研究成果のポイント＞

一般にニホングリ品種は、チュウゴクグリ品種と比べ果肉のやわらかさや果実の大きさの点で優れるものの、渋皮がむきにくいという欠点がある。果樹研究所では、良食味で渋皮がむきやすいニホングリ品種の育成を目的として交雑・選抜を行ってきた結果、渋皮が簡単にむける画期的な品種「ぽろたん」の育成に成功した。

本品種は、渋皮のむけやすさが甘栗に使われるチュウゴクグリ並に優れており、家庭用のオーブントースターや電子レンジで加熱するだけで簡単に渋皮をむくことができる。また、9月上中旬に収穫される早生品種で、果実は30g程度と大きく、果肉色は黄色で、果肉質は粉質、甘味・香気はともに多く、果実品質に優れている。

本研究は、運営費交付金にて行われた『クリ第5次、第6次、第7次育種試験、クリ第6回系統適応性検定試験』及び『渋皮剥皮性の良い画期的ニホングリ品種「クリ筑波36号」の加工適性および貯蔵性の解明』により得られた成果である。

＜期待される効果・今後の展開など＞

今後、本品種を用いた和洋菓子などの加工品への利用をはじめとした需要拡大により、国内のクリ関連産業の活性化に寄与することが大いに期待される。2007年秋より生産者向けの苗の販売が始まり、早ければ4～5年後に市場に出回る。

果樹研究所では、「ぽろたん」の持つ渋皮のむけやすさのメカニズムとその遺伝について解析を進めるとともに、渋皮のむけやすい収穫時期の異なる品種の育成にむけ、交雑と選抜を進めている。

＜研究所名＞

(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所

＜担当者名＞

ナシ・クリ・核果類研究チーム

平林利郎、佐藤明彦、澤村豊、高田教臣

＜連絡先＞

広報担当者 企画管理部 情報広報課長 山本徳義

TEL029-838-6454

FAX 029-838-6437

渋皮が簡単にむける画期的なニホングリ新品種「ぼろたん」



チュウゴクグリ
(岐阜1号)

ぼろたん

ニホングリ
(筑波)

写真1. 電子レンジ(700W)で2分間加熱後の果実

表 ぼろたんの特性と果実品質

品種・系統	収穫期	果実重	果肉色	肉質	甘味	香気	渋皮剥皮時間
ぼろたん	9月15日	30.5g	黄	やや粉	中~やや多	多	3.7秒
丹沢	9月4日	27.9g	黄	中~やや粉	やや少~中	やや少	143.7秒
国見	9月14日	32.3g	淡黄	やや粘	やや少	やや少	287.9秒



写真2. 「ぼろたん」の結実状況

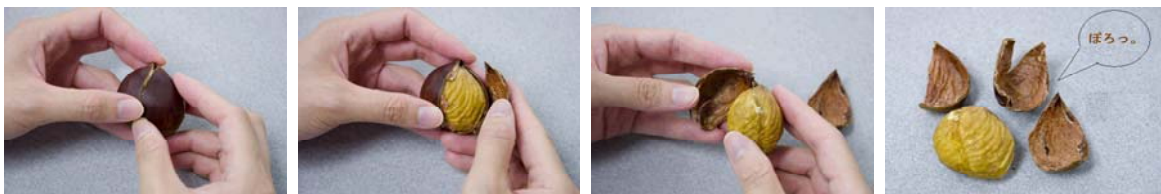


写真3 手で簡単に皮がむける「ぼろたん」